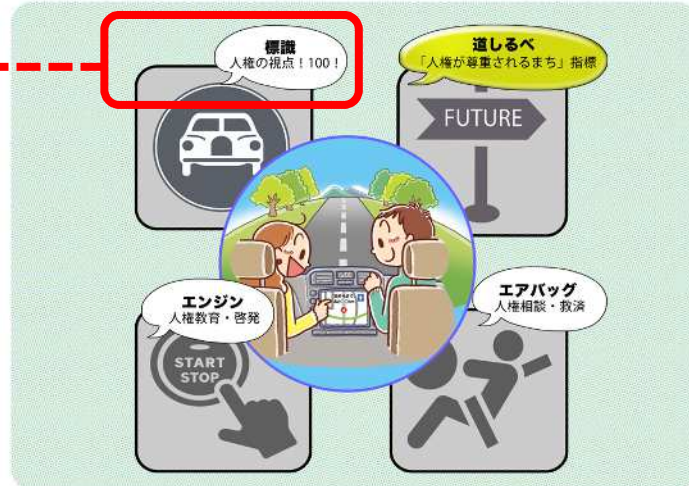


# 「人権の視点!100!」実行プログラムの取組み（概要）

## 「大阪市人権行政推進計画～人権ナビゲーション～」

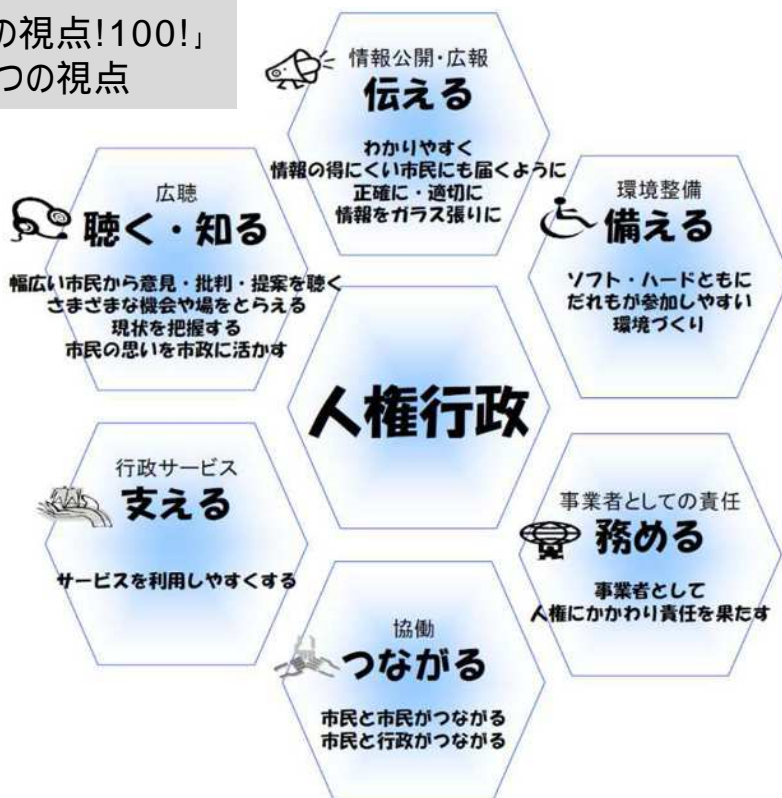
「人権の視点!100!」を踏まえて、各所属で**実行プログラム**を策定し、人権行政を推進。  
（今回の審議会で審議）

大阪市の施策や取組みの推移や現状を示す。最新の調査に基づき毎年度改訂。  
（前回1月の審議会で審議）



人権啓発・相談の取組み  
（前回の審議会で引き続いて審議）

### 「人権の視点!100!」 6つの視点



各所属の人権行政を推進体制（人権行政推進委員会等）が旗振り役となり、6つの視点の中で組織の特性に応じた取組み（**実行プログラム**）を継続的に実施。

## 区役所における実行プログラム

主な視点	取組みの特徴
伝える	わかりやすい情報発信や市民対応をめざして、やさしい日本語の使用を実践する。
聴く・知る	「来庁者等に対する窓口サービスの格付け」等の外部の客観的評価をもとに、改善を図る。
備える	高齢者、障がいのある人、外国人等、全ての区民への配慮を心がけ、ハード・ソフト面での環境整備に努める。

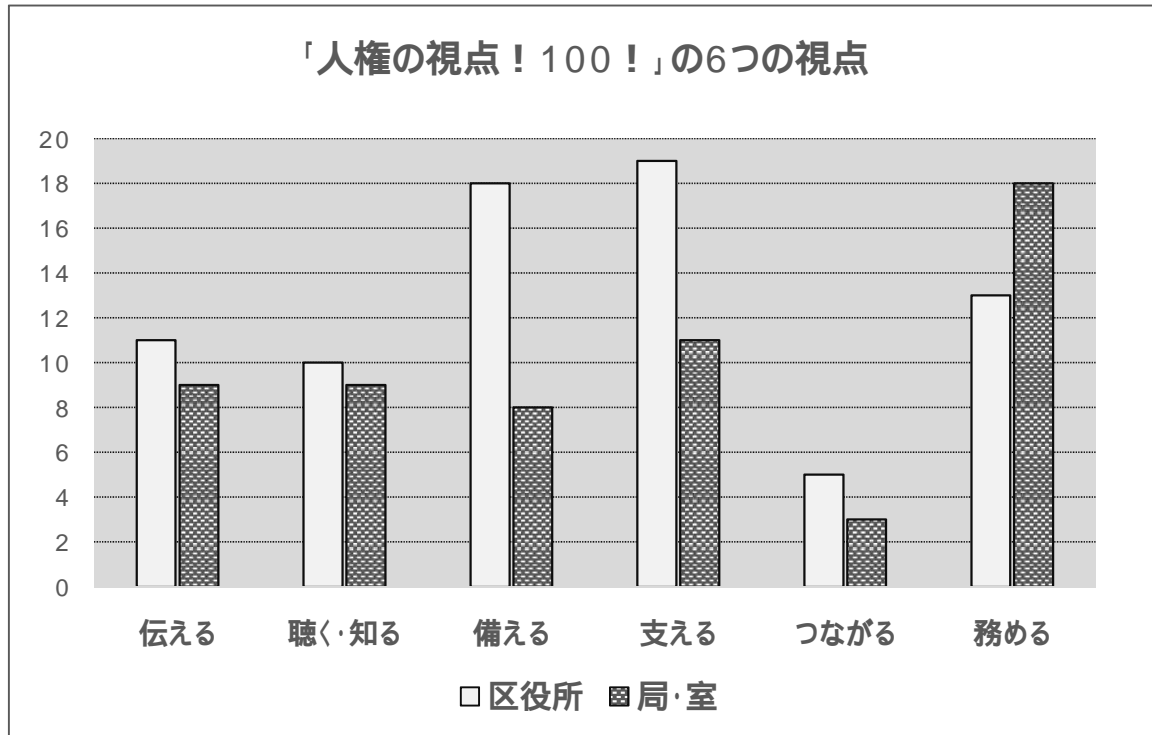
具体的な取組み事例（主なもの）	実施所属
外国人住民に向けた「やさしい日本語」について、説明や資料などに積極的な活用を行い、対応の場面では、トリオフォンや、多言語翻訳等のICTツールを活用した。	中央区、阿倍野区、西成区など
毎年実施している「区役所来庁者等に対する窓口サービスの格付け結果」の向上を具体的な数値目標として、接遇研修等（外部講師の招聘も含む）を通じ、意識・行動の変革、定着を図った。	都島区、城東区、鶴見区、住吉区、東住吉区、平野区など
高齢者や障がいのある人等に配慮し、床面の改装やトイレの改修といった設備面の改良を実施した。	此花区、港区など
窓口スペースや庁内案内表示の改善など、利用しやすさを高める環境整備を行った。	港区、住之江区、住吉区など
職員研修等で、LGBTやハラスメント等の今日的なテーマを取り上げ、職員の意識向上を図った（予定も含む）。	北区、淀川区、東成区など
近隣の区役所で連携して人権啓発イベントに取り組んだ。	港区、大正区、浪速区など

## 局・室における実行プログラム

主な視点	取組みの特徴
伝える	やさしい日本語の使用やホームページの充実、積極的な情報公開に取り組んでいる。
支える	所掌分野の業務における行政サービスの利便性や安全性の向上に努めている。
務める	個人情報の適切な管理や職場におけるハラスメントの防止に取り組んでいる。

具体的な取組み事例（主なもの）	実施所属
EXPO2025も念頭に、担当組織や生活インフラを担う組織等で、「やさしい日本語」の使用等、多文化共生に関する職員の研修及び啓発活動を実施した。	政策企画室、万博推進局、計画調整局、水道局など
さまざまな人権課題について、メールでの周知・啓発、e-ラーニング、グループ研修等を実施した。	副首都推進局、デジタル統括室、政策企画室、市民局、計画調整局、建設局、市会事務局など
個人情報保護という観点でのセキュリティプリントの励行、グループウェアを活用した所属内啓発を行った。	危機管理室、健康局など
バリアフリーやハラスメント等、所掌業務や人員構成面での組織特性に応じた特定テーマを重点的に取り上げ、研修等による継続的な取組みを行っている。	都市交通局、環境局、大阪港湾局など
職員研修等で、今日的なテーマ（LGBT、ヤングケアラー等）を取り上げ、職員の意識向上を図った（予定含む）。	経済戦略局、教育委員会事務局、行政委員会事務局など

## 区役所と局・室、視点の分布状況



このグラフは、各所属がどの視点に着目して実行プログラムを策定しているかを示しているものです。